



小金井 2021.7/1 No.519 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市本町2-15-11 TEL042-383-1184
メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

起きます！起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！僕・私。
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

きたまちセンターから始まった 自主サークル「ダイアンサス」を紹介します



■自主サークルの始まり

「ダイアンサス」は、平成30年度公民館貫井北分館主催講座の成人学校「きたまちセンターの花づくり～寄せ植えとハーブ編～」の受講者の中で活動を開始した自主サークルです。

平成30年4月からスタートし、3月まで行った講座では、班ごとの水やり当番で、きたまちセンターの植栽のメンテナンスを行っていました。

年間を通した講義、野外学習、水やり当番等で交流を深め、花への愛着も増しました。

講座終了後も、きたまちセンターの寄せ植えを解体するゴールデンウィークまで有志の数名でメンテナンス活動を続けました。「ダイアンサス」の始まりです。

その後、せっかく花好き同士集まって活動したのだからと、自主グループを結成。花のメンテナンス活動にとどまらず、料理作りで親睦を深めたり、体操で基礎体力をアップさせたりと様々な活動を始めました。

■主に花壇ボランティア をしています

「ダイアンサス」は様々な内容の活動をしています、なんといってもメインは花に関するボランティア活動です。

平成30年4月に武蔵小金井駅北口西側に「むさこぶらっと公園」が誕生しました。この公園には小さなお子さん向けの遊具や花壇が有り、市民の憩いの場となっています。

「ダイアンサス」はこの「むさこぶらっと公園」の花壇ボランティアをしています。市の環境美化サポーターに登録し、花壇のデザインをはじめ、メンバーが交代で日々のメンテナンスを行っています。

公園を利用しているお子さんたちと交流することもあり、地域の見守りにもつながっています。



「ダイアンサス紹介」

代表 鳥羽 浩子

ダイアンサスはとても勇ましい響きですが撫子の学名です。「大和撫子のように慎ましく、可愛いけれど時には勇ましく花や子ども達を守る」と命名しました。公園内の遊具も電車・プラットホームをイメージしたもので、1日中小さな子ども達が遊ぶ公園です。幼い時から花に慣れ親しみ、花好きな優しい心に育て欲しいとの願いもあります。

昨年は風船かずらをフェンスで育て、子ども達に可愛い種を取って貰いました。お母様方、ご近所の方から花に関する感謝のお言葉を頂いています。

コロナの中、家に閉じこもっていないで青空の下で、私達と一緒に花と子ども達を見守りませんか？子ども達の記憶に残る有意義な活動だと思います。

問合先：鳥羽(090-1608-7646)

■今後の活動

見守りとして1週間交代で花壇手入れを各自で担当！年2回、6月と11月に季節の花の苗、総植替えをします。

今年はその時期に花に関するイベントを環境政策課と実施する予定です。

どのようなかお楽しみに！

むさこぶらっと公園 の花壇と遊具



注 意

新型コロナウイルス感染症予防の為、掲載の情報は変更になる場合がございます。
 主催事業の開催の詳細は、小金井市ホームページの確認または公民館各館へお問い合わせください。
 ご理解のほどよろしくお願いいたします。(6月16日現在の情報を掲載しています)

青少年教育事業 世代間交流の推進
「おうち時間を楽しむ ちょっとスペシャルな
フラワーアレンジメント」 貫井北分館

花の話、選び方などの説明を聞き、日ごろの生活の中で花を楽しむ方法やフラワーアレンジメントの基礎を学びます。



アレンジメントでスペシャル感アップ その1
 講師作品 ※実際の講座のお花とは異なります。

と き 7月26日(月) 午後2時～4時
と ころ 公民館貫井北分館 創作室
講 師 森このみさん(生花店店主)
対 象 市内在住・在勤・在学の小学生以上25歳くらいまでの方
定 員 8人(申込順)
参加費 1,000円(材料費)
申 込 7月1日(木)午前9時から電話、または公民館貫井北分館窓口(☎042-385-3401)へ。



アレンジメントでスペシャル感アップ その2・3
 講師作品 ※掲載の写真はイメージです。

成人大学講座
「世界における日本のロボット技術」 緑分館

東京農工大学のご協力を得て、最先端の研究に携わる先生方から日本のロボット技術の現状と今後の課題について学びます。

と ころ 公民館緑分館学習室A・B・C
内 容 右の表のとおり
対 象 市内在住・在勤・在学の方
定 員 30人(申込順) **参加費** 無料
申 込 7月1日(木)午前9時から電話、または公民館緑分館窓口(☎042-387-7301)へ。

公民館緑分館
利用中止のお知らせ

新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場として公民館緑分館を使用しています。

ワクチン接種実施中は、図書館以外の部屋の利用はできません。

期間	7月31日(土)頃までの毎週水曜日・土曜日 (接種状況により期間が変更する場合があります。)	
時間	水曜日	終日(午前9時～閉館まで)
	土曜日	正午～閉館まで

利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

青少年教育事業 世代間交流の推進
「はじめてのマンガイラスト講座」 貫井北分館

マンガを描くために必要なストーリー作りを学び、キャラクターや背景の描き方などを体験します。

と き 7月29日(木) 午後1時～5時
と ころ 公民館貫井北分館 創作室
講 師 柚木元さん(東京工学院専門学校講師、和光大学非常勤講師)
対 象 市内在住・在勤・在学の中学生以上25歳くらいまでの方
定 員 8人(申込順)
参加費 無料
持ち物 筆記用具、定規、下敷き、ミリペンまたはドローイングペン
申 込 7月1日(木)午前9時から電話、メールまたは公民館貫井北分館窓口(☎042-385-3401 ☒k020415@bz.plala.or.jp)へ。



回	と き	内 容	講 師
1	8/1	人間に学び考える ロボティクス	水内郁夫さん (工学部機械システム工学科教授)
2	8/8	ロボットに嗅覚を持たせる	石田寛さん (工学部生体医用システム工学科教授)
3	8/22	ロボットリハビリテーション：ヒトとロボットの相互適応	近藤敏之さん (工学部知能情報システム工学科教授)

※いずれも日曜日、午後1時30分から3時30分まで

成人学校 「夏休み 伝統工芸体験 水引あわじ結びの金魚モビール」 貫井南分館

日本の伝統工芸品「水引細工」で、ゆらゆら風に揺れる金魚のモビールを作ります。

とき 7月30日(金)午前10時～正午
ところ 公民館貫井南分館学習室A・B
講師 小松慶子さん(水引デザイナー/紙単衣主宰)
対象 市内在住・在学の小学生から20代までの方
(小学3年生以下は保護者同伴)
定員 10人(申込順)
参加費 500円(材料・資料代)
申込 7月2日(金)午前9時から電話、または
公民館貫井南分館窓口
(☎042-383-1168)へ。

市民講座報告 「オリンピック・パラリンピックの 魅力と聖火リレー」 貫井南分館

全2回で5月15日(土)「オリンピックとパラリンピックの魅力」、22日(土)に「聖火リレーの意味と見どころ」として、筑波大学特命教授の真田久さんにご講義いただきました。

真田先生は定年退職後、東京2020大会組織委員会参与ということもあり特命教授として大学に残るほか、昨年のNHK大河ドラマ「いだてん」の歴史考証に携わった方です。

15日(土)「オリンピックとパラリンピックの魅力」
オリンピックの起源は戦争と疫病からの解放、スポーツは文化・芸術とともに、その存在意義を高めていくことにある。

スポーツは自分だけでなく他人とも幸福を共有することができる。そこには国を超えた友情(具体的な選手同士など)があり、コロナ禍にあって人と人の分断をスポーツの力で一体感、連帯感を復活させる「力」がある。パラリンピックにおいては、障がいと捉えるのではなく「個性」と捉え、色々な可能性が育まれていくということを学習しました。

22日(土)「聖火リレーの意味と見どころ」

古代ギリシャでは「火」は非常に大切に神聖なもの、家や神殿、市庁舎には炬があり、繁栄、幸福の女神が宿っていると信じられ、絶やすことなく燃やし続け、新しい都市ができた際には火をリレー方式で繋いだことが、聖火リレーの起源になったとも言われているそうです。

1964年にアジアで初めて開催された東京オリンピックの聖火の空輸で、プロペラ機のアクシデントが発生した話や、最終聖火ランナーの早稲田大学陸上競技部で自身もオリンピック出場を狙っていた坂井さんは、奇しくも原爆投下日に生まれた方で、戦争からの復興の願いを込めて、国立競技場の聖火点火台に火を灯したことなどについても学ぶことができました。

講座の休憩時間には、1964年オリンピック当時について、講師・参加者共通の話題として話が弾み、「阿佐ヶ谷で中学生の友人がリレーランナーになり、学校で応援に行った」、「閉会式を直接見た」、また、既に社会人だった方からは「当時は新幹線の開発でそれどころではなかった」など、思い出話に花が咲き、和やかな雰囲気です。講座は終了しました。

市民講座 「親子で社会科見学 ～浅川清流環境組合～」 貫井南分館

浅川清流環境組合は、昨年4月から本格稼働した小金井市・国分寺市・日野市の3市共同ごみ処理施設です。夏休みの思い出に、親子で見学してみませんか？

とき 8月20日(金)午前9時～午後1時
ところ 浅川清流環境組合(日野市)
集合 午前8時45分 市役所本庁舎前駐車場集合
(マイクロバス利用)
午後1時頃 同場所解散予定
対象 市内在住、在学の小学生と保護者
(小学生のみの参加はできません)。
定員 12人(多数抽選) **参加費** 無料
申込 7月28日(水)(必着)までに往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、公民館貫井南分館「親子で社会科見学」係(〒184-0014 小金井市貫井南町4-3-23)へ。

公民館 新館長からのひと言

令和3年4月1日付けで公民館長を拝命しました、鈴木と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

皆様方には日頃より公民館の運営・活動に対して多大なるご理解・ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、既にご案内のとおり、令和3年3月に小金井市公民館中長期計画を策定しました。令和3年度は、公民館の中長期的な課題を解決し、公民館の将来像である「つどい、学び、つながる、地域の拠点(ひろば)」を実現していく計画の初年度となります。このような大切な時期に公民館長という職を拝命したことは、身が引き締まる思いであります。

公民館が、その役割をこれまで以上に果たしていくため、私だけでなく、職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様におかれましては引き続きご理解・ご協力をいただきますよう、宜しくお願ひいたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。 公民館長 鈴木 遵夫






月刊こうみんかん 市民投稿の話題を募集!

- 「心に残った一冊・名画・音楽」
 - 「地域を歩く」 ● 「小金井旬菜」
- あなたのおきのお薦めを、思い出や感想と共に掲載してみませんか？

問合せ先 公民館本館(〒184-0004 小金井市本町2-15-11 ☎042-383-1184 FAX042-387-1226) ✉k020499@koganei-shi.jp)

◆小金井市各公民館 Twitterアカウント・問合せ一覧◆

小金井市公民館	公民館貫井南分館	公民館緑分館	公民館東分館	公民館貫井北分館
本町2-15-11 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	貫井南町4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	緑町3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	東町1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	貫井北町1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
本館・貫井南分館・緑分館共通アカウント 小金井市公民館 @koganei_koumink			 小金井市東センター @npo_higashi	 公民館 貫井北分館 @cc_nukuikita

サークル紹介

「元氣会」

東分館



折り紙や画用紙を使って、図画工作を楽しんでいるシニアサークルです。

五月人形やクリスマスリース、花火の切り絵など季節感のある作品を作っています。

メンバーの作品は、東分館の事務室の入り口に飾ることもあり、来館者の皆さんに喜んでいただけるのが励みになっています。

工作で指を動かしたり、色や配置を考えることは脳への良い刺激となり、脳トレの効果も期待できます。

現在は月に一度講師の先生をお招きして作品を作っています。メンバーは女性5人ですが、男性も歓迎します。

平均年齢はゆうに80歳を超えていますが、サークル名のとおり、とても元気で活気のあるサークルです。興味のある方は、ぜひ一度見学にいらしてください。



活動日時 原則第2または第3月曜日(月1回)
午後1時～5時

会費 3回4,000円(材料費)

場所 公民館東分館

問合せ先 042-384-7689(斉藤)

市民投稿 心に残った一冊

『火星年代記』 レイ・ブラッドベリ著

NASAが火星上でヘリコプターの飛行に成功、中国が、米、ロシアに続く3番目の火星探査国・・・最近、火星探査の話題が続く。肝心の有人探査計画、NASAは2033年を目標としているとのこと。

ここに紹介するSFは、2030年から57年までの火星における年代記である。3次にわたる初期の探査隊は、文明の発達した火星人の狡知にはまり失敗。ところが、探査隊が持ち込んだ水疱瘡ウィルスで火星人は絶滅。探査は回を重ね、次に居住ラッシュが始まり、様々な想いの人々のストーリーが展開される・・・20数話のオムニバスで綴られる。結末は、地球が核戦争で荒廃してしまい、火星に残された地球人が火星人として人類をつないでいく冷戦期のSFらしいディストピアを描いている。

病原体で死滅する火星人。スピルバーグが映画化したHGウェルズ原作の「宇宙戦争」でもタコみたいな火星人は地球を侵略したものの同じ運命をたどる。火星人は科学は進んでいるが、うっかりさんなのだろう。タコか、お前ら!

さて、コロナ禍においてカミュの「ペスト」、さらには日本SF界の大家、小松左京の「復活の日」も読まれているらしい。ウィルス兵器が漏出し、人類がほぼ絶滅してしまうストーリー。作中のウィルスの名称はMM-88. Martian Murderer(火星の殺人者)の略。そう、連敗した火星、日本の小説で一矢報いている。 緑町在住 田辺

コロナ禍における特別主催事業

学びの場として、公民館の一部のスペースを開放しています。

●StudyRoom HONKAN (本館)
学習室を利用し、自己学習を行うことができます。

●スタディールーム 南分館 (貫井南分館)
個人の勉強の場として利用できます。

●きたまち学びといこいのひろば (貫井北分館)
学習や休憩にご利用いただけます。

各館によって利用方法・申請方法などが異なります。詳細は、各館にお問い合わせください。